

富山市における事業系一般廃棄物 減量化の状況

富山市

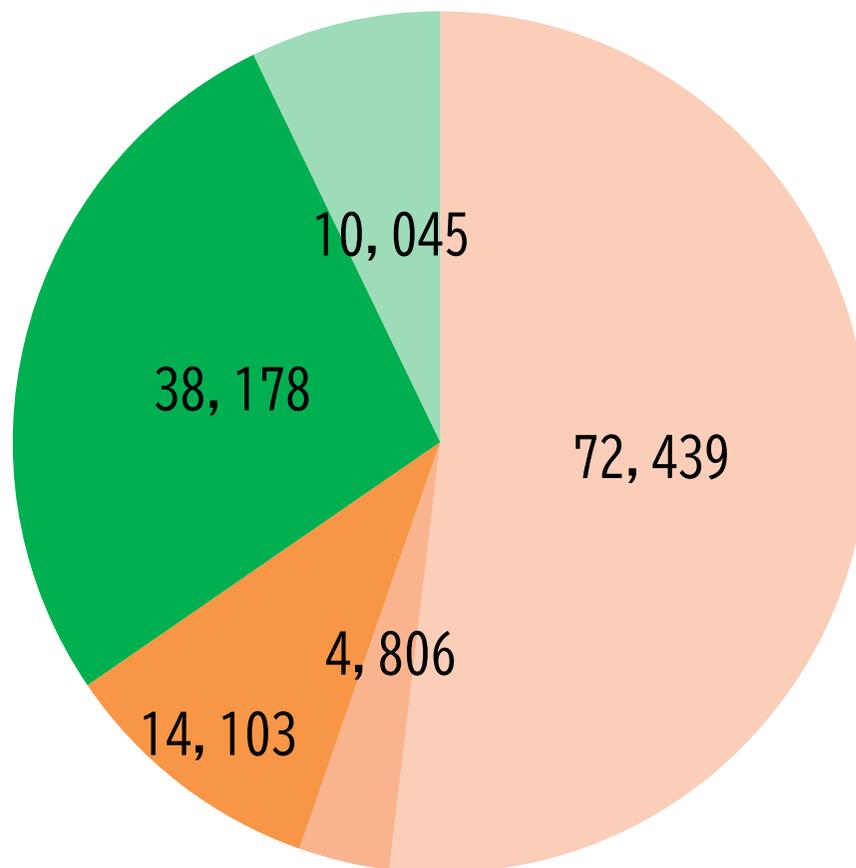
廃棄物対策課 減量推進係

富山市のごみ処理の状況（令和6年度）

富山市全体
139,571トン

事業系ごみ
48,223トン
35%

生活系ごみ
91,348トン
65%

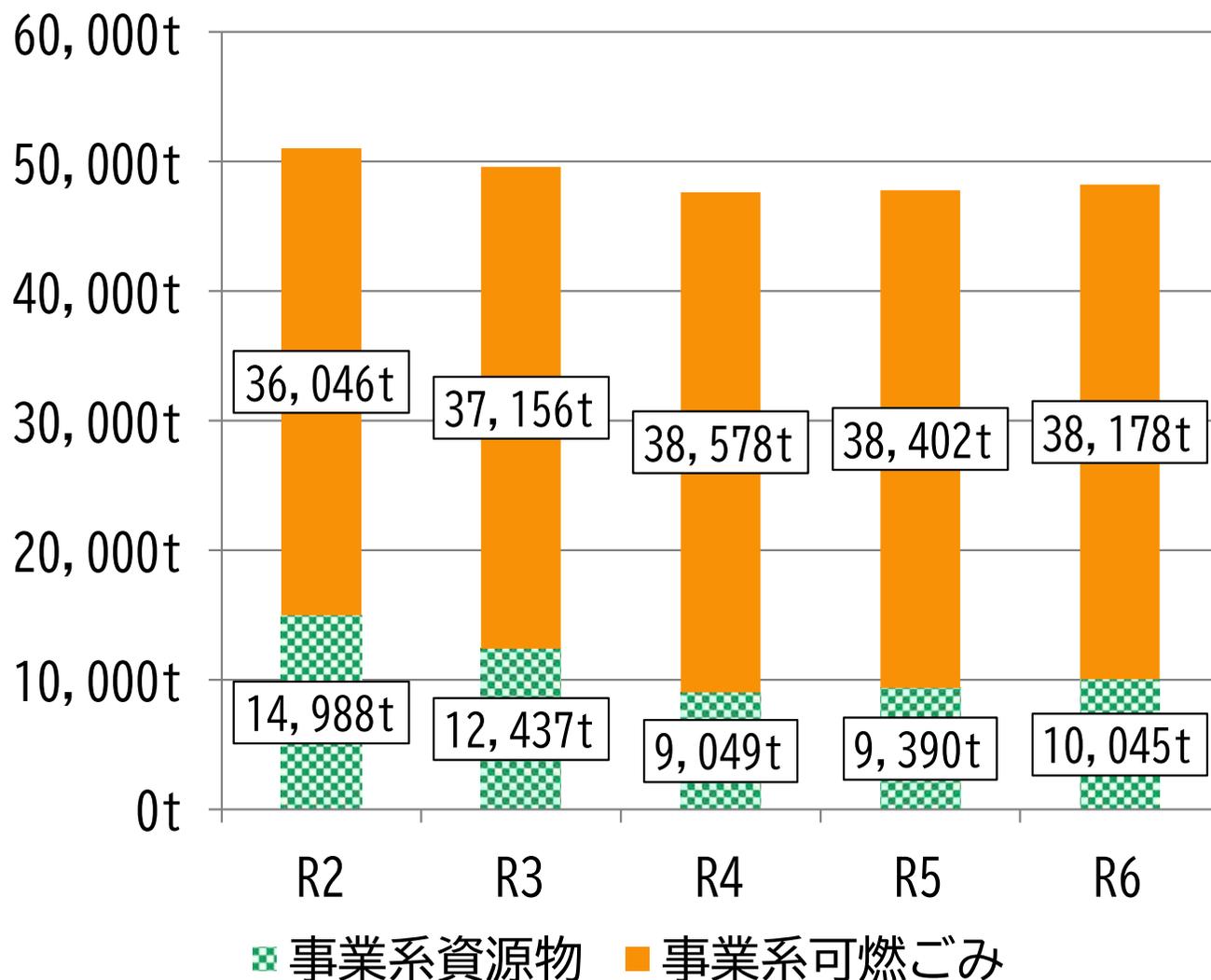


- 生活系可燃ごみ
- 事業系可燃ごみ
- 生活系資源物
- 事業系資源物
- 不燃物・その他

【事業系資源物】 富山市エコタウンなどで再資源化される事業系一般廃棄物。
(市で発生量を把握している木質系廃棄物、固形燃料化する布類等など)

事業系一般廃棄物の状況（～令和6年度）

総排出量	51,034t	49,593t	47,627t	47,792t	48,223t
------	---------	---------	---------	---------	---------



第2次富山市一般廃棄物
処理基本計画
(令和4年3月)より、
事業系ごみでの目標値

令和3年度（前期）

- ①総発生量 49,299トン
- ②焼却処理量38,516トン

令和8年度（後期）

- ①総発生量 48,084トン
- ②焼却処理量37,279トン

R6年度 減量計画書の提出状況

対象建築物	事業所数	提出済 件数	未提出 件数	提出率
特定建築物①	165	143	22	86.7%
大規模小売店舗②	65	58	5	89.2%
①と②を兼ねる施設	47	38	9	80.9%
金融・保険・証券会社	106	104	2	98.1%
一般廃棄物50t以上 排出事業所	71	59	12	83.1%
合計	454	402	52	88.5%

(過去の提出状況) 令和5年度 452事業所中、414事業所 (91.6%)
 令和4年度 450事業所中、405事業所 (90.0%)

富山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

(事業者による減量等の推進)

第10条 事業者は、事業系廃棄物の発生及び排出を抑制するとともに、その事業活動に際して再生資源（資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）第2条第4項に規定する再生資源をいう。）、再生部品（同条第5項に規定する再生部品をいう。）及び再生品を使用することにより、並びに物の製造、加工、販売等に際して次に掲げる方法等により、廃棄物の減量及び資源の有効な利用に努めなければならない。

(事業系一般廃棄物の減量計画)

第11条 事業用の大規模な建築物その他事業系一般廃棄物を多量に排出すると認められる建築物で規則で定めるものの所有者（所有者以外に当該建築物の全部の管理について権原を有する者がある場合には、当該権原を有する者）は、規則で定めるところにより、当該建築物に係る事業系一般廃棄物の減量に関する計画を作成し、市長に提出しなければならない。当該計画を変更したときも、同様とする。

4 ビル管理会社名

名称	所在地	電話番号
△△ビル管理棟	富山市新坂町2番2号	432-4111

5 再利用可能な物の回収委託業者名

品目	名称	所在地	電話番号	再利用率
紙類	□□紙業棟	富山市新坂町3番3号	432-2222	25%
厨芥類	○○○機	富山市新坂町4番4号	432-3333	1.5%
家電・家電材	△△△家電店	富山市新坂町5番5号	432-4444	2%

6 一般廃棄物収集運搬委託業者名

品目	名称	所在地	電話番号	収集量
紙類	△△工業棟	富山市新坂町6番6号	432-5555	6トン

7 事務所内での自己処理について(事務所内、中間処理をしている場合に記入してください)

処理方法	生ごみ処理機	その他
	△	

8 ごみ処理費について(一般廃棄物にかかる年間処理費を記入してください)

2,500 千円

【記載例】

様式第1号(第3条関係) 年 月 日

富山市事業系一般廃棄物減量計画書

(優先)富山市長 住 所(所在地) 富山市新坂町1番1号

整理番号

氏名(名称及び代表者氏名) ○○商事株式会社 富山支店 代表取締役 富山太郎

富山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則第8条の規定により、事業系一般廃棄物の減量計画を提出します。

建築物の名称	○商事ビルディング
建築物の所在地	富山市新坂町1番1号
建築物の所有者	連絡担当者 総務課長
若しくは権原を有する者	○商事株式会社 立山 篤三
構造等	連絡先 電話番号 456-7890
地上	5階、地下 1階、延床面積 10,000㎡
建築物の用途	1 事務所 2 百貨店
処理方法	3 スーパーマーケット 4 小売店舗
5 複合用途	6 その他
処理の実績	①事務所 5社 合計 8,000㎡
多量に排出する等について(別表参照)	②飲食店 3社 合計 600㎡
多量に排出する等について(別表参照)	③小売店舗 社 合計 ㎡
4 その他	㎡ 共用部分(1,400㎡)
建築物内従業員	300人

減量計画

【記載例】

区 分	令和7年度実績					令和8年度計画					備 考
	発生量		再利用率		削減率 (%)	発生量		再利用率		削減率 (%)	
	トン/年	トン/年	トン/年	トン/年		トン/年	トン/年	トン/年	トン/年		
一般廃棄物の種類	A	B	C	A-B	(B+C)/A	A	B	C	A-B	(B+C)/A	
紙(〇A用紙等)	19	0	17	2	89.5%	18	0	17	1	94.4%	
紙(新聞、雑誌、段ボール)	8	0	8	0	100.0%	7	0	7	0	100.0%	
紙(機密書類)	4	0	0	4	0.0%	4	0	0	4	0.0%	
厨芥類(残飯、生ごみ)	1.5	0	1.5	0	100.0%	1.5	0	1.5	0	100.0%	
その他											
小計	32.5	0	26.5	6	81.5%	30.5	0	25.5	5	83.6%	
空き缶	1	0	1	0	100.0%	1	0	1	0	100.0%	
空きびん	1	0	1	0	100.0%	1	0	1	0	100.0%	
プラスチック類	0.5	0	0	0.5	0.0%	0.4	0	0	0.4	0.0%	
小計	2.5	0	2	0.5	80.0%	2.4	0	2	0.4	83.3%	
合計	35	0	28.5	6.5	81.4%	32.9	0	27.5	5.4	83.6%	

(参考事項)

1 シュレッダーの使用の有無 (有) ・ 無

2 再生品の使用状況

コピー用紙 (有) 80% ・ 無 トイレレットペーパー (有) ・ 無

印刷物 (有) 100% ・ 無 その他(新聞・文庫) (有) ・ 無

3 現在取り組んでいるリサイクルの状況や、ごみの減量にあたって課題に感じていることなどを記入してください。

・新聞、雑誌、段ボール類は、各フロアに集積場所を設け、全量を資源化している。
 ・OA機等の機密紙面を使用し、各事務所ごとに回収ボックスを設けて回収の徹底を図っている。
 ・機密書類を全量を資源回収しているため、情報の取り扱いに配慮しながら資源化する方法を考案する必要がある。

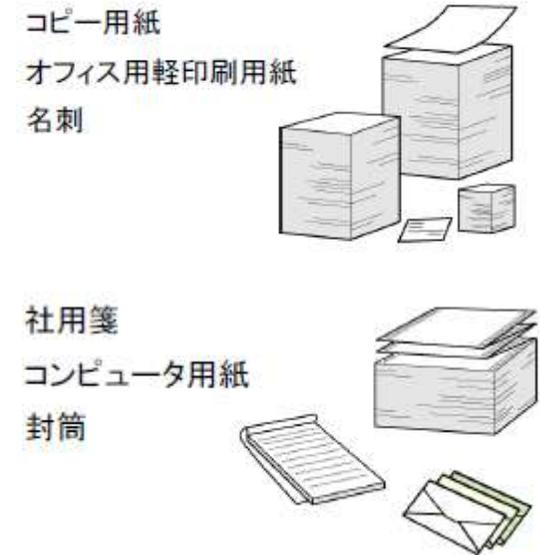
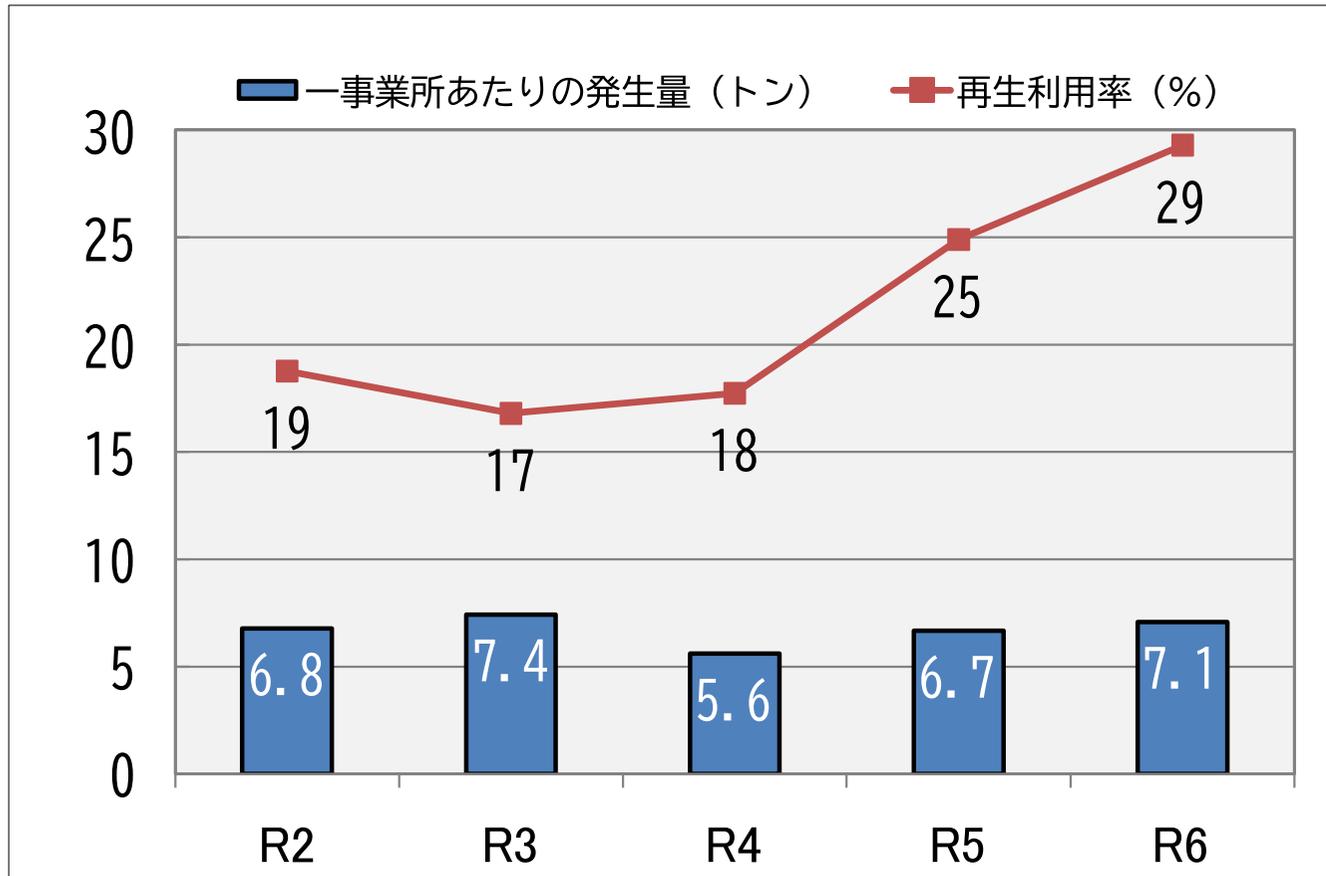
減量計画書の裏面

年度 区分		令和6年度実績				
		発生量	自家処理量	再利用量	廃棄処分量	減量率
一般廃棄物の種類		トン/年 A	トン/年 B	トン/年 C	トン/年 A-(B+C)	(B+C)/A (%)
紙（O A用紙等）		トン	トン	トン	トン	
紙（新聞、雑誌、段ボール）						
紙（機密書類）						
厨芥類（残飯、生ごみ）						
その他（ ）						
小計						

発生量および減量率について・・・

- O A用紙等 ●新聞・雑誌・段ボール ●機密書類 ●厨芥類
- 例年、記載いただいている内容を過去の推移と比較してみます

OA用紙等

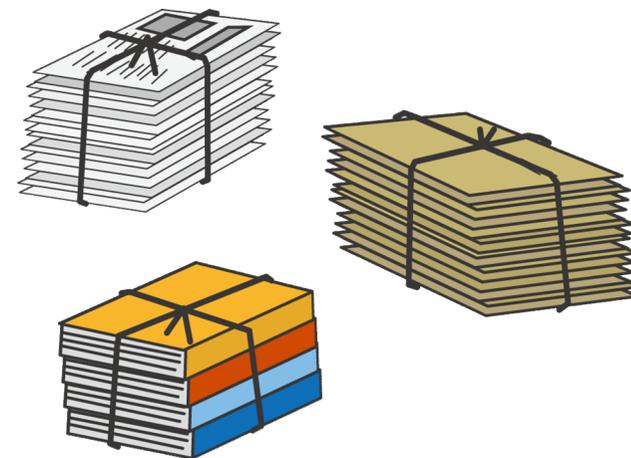
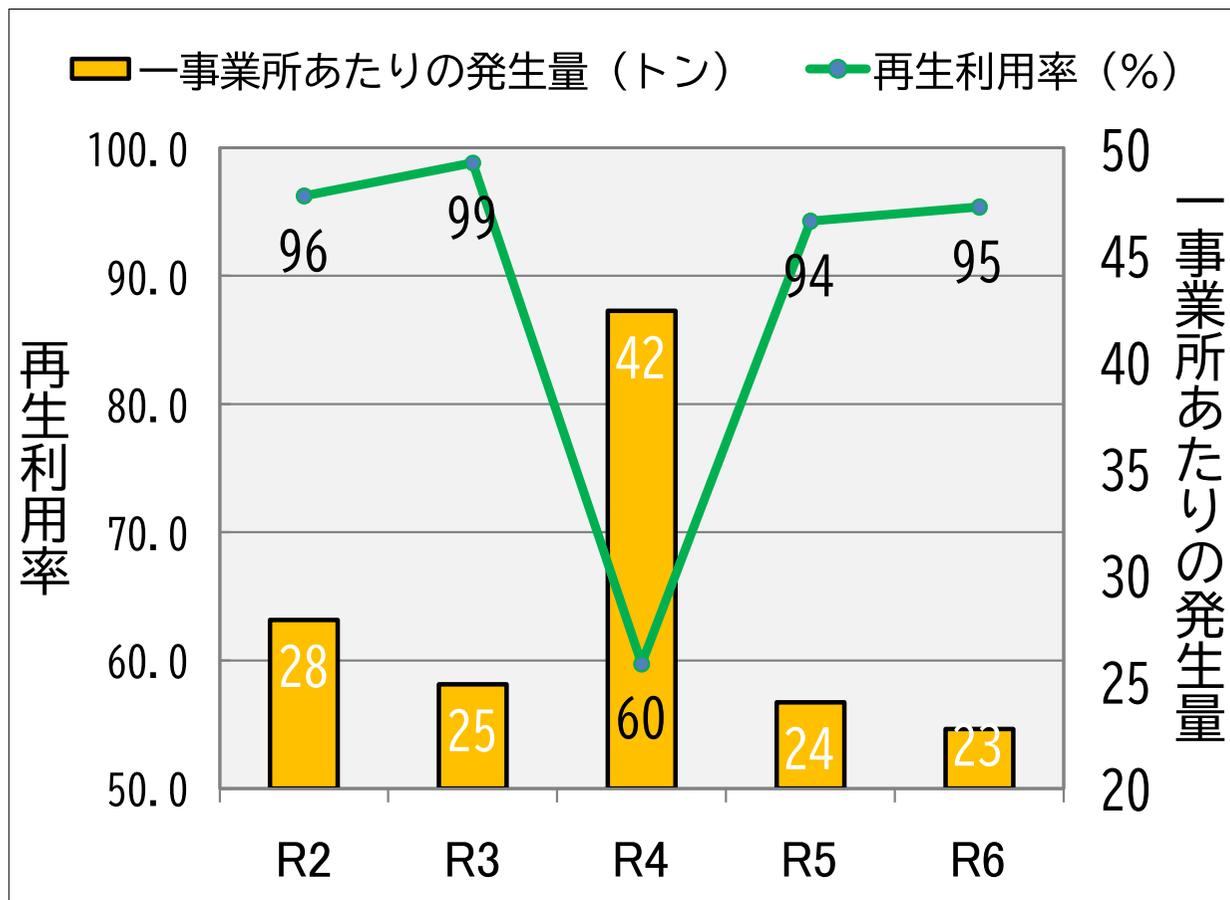


再生利用率 29%

発生量1,316トン
再利用388トン

該当事業者	全量再利用	一部再利用・自家処理
186事業所	57事業所	31事業所
	30.6%	16.7%

新聞・雑誌・段ボール

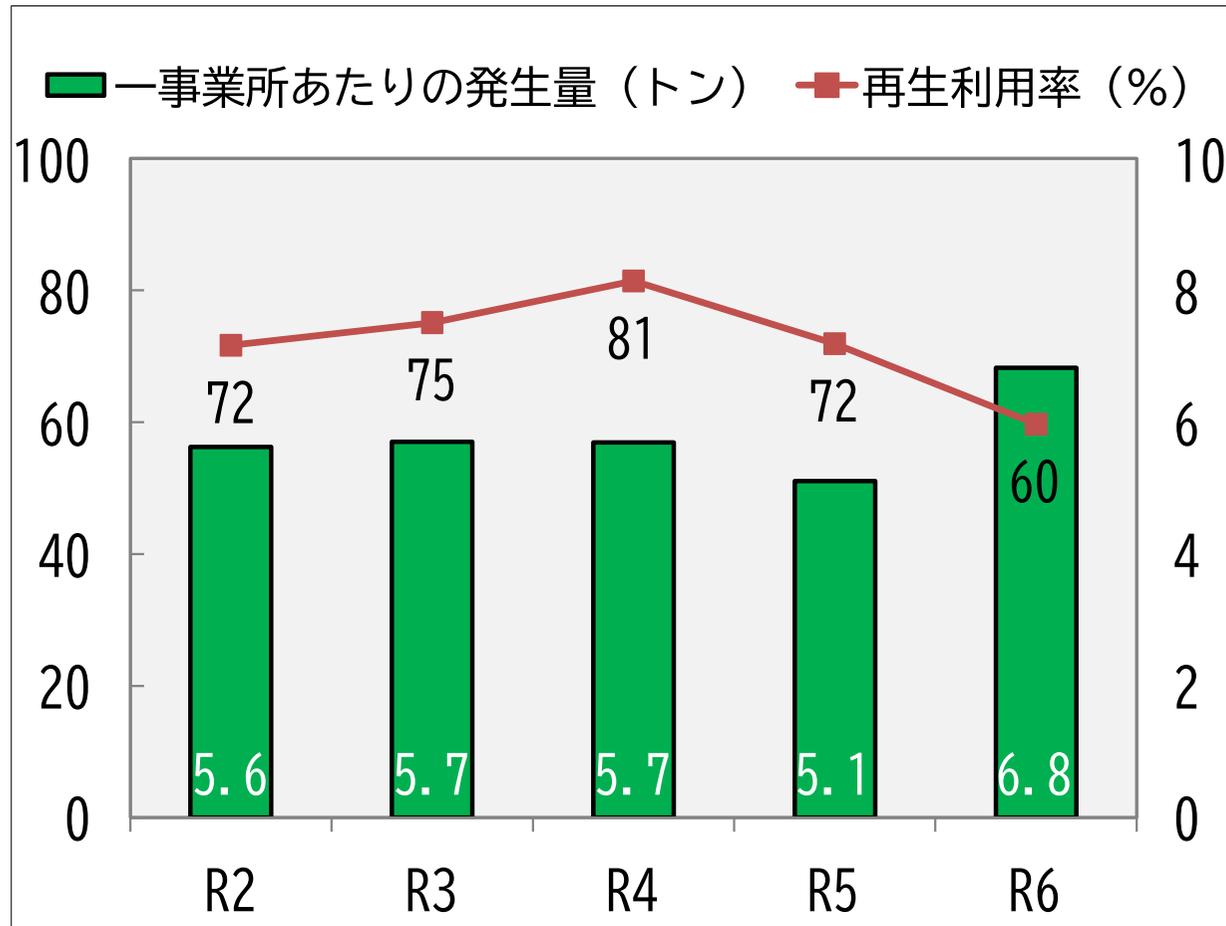


再生利用率 95%

発生量7,248トン
再利用率6,914トン

該当事業者	全量再利用	一部再利用・自家処理
318事業所	266事業所	17事業所
	83.6%	5.3%

機密書類

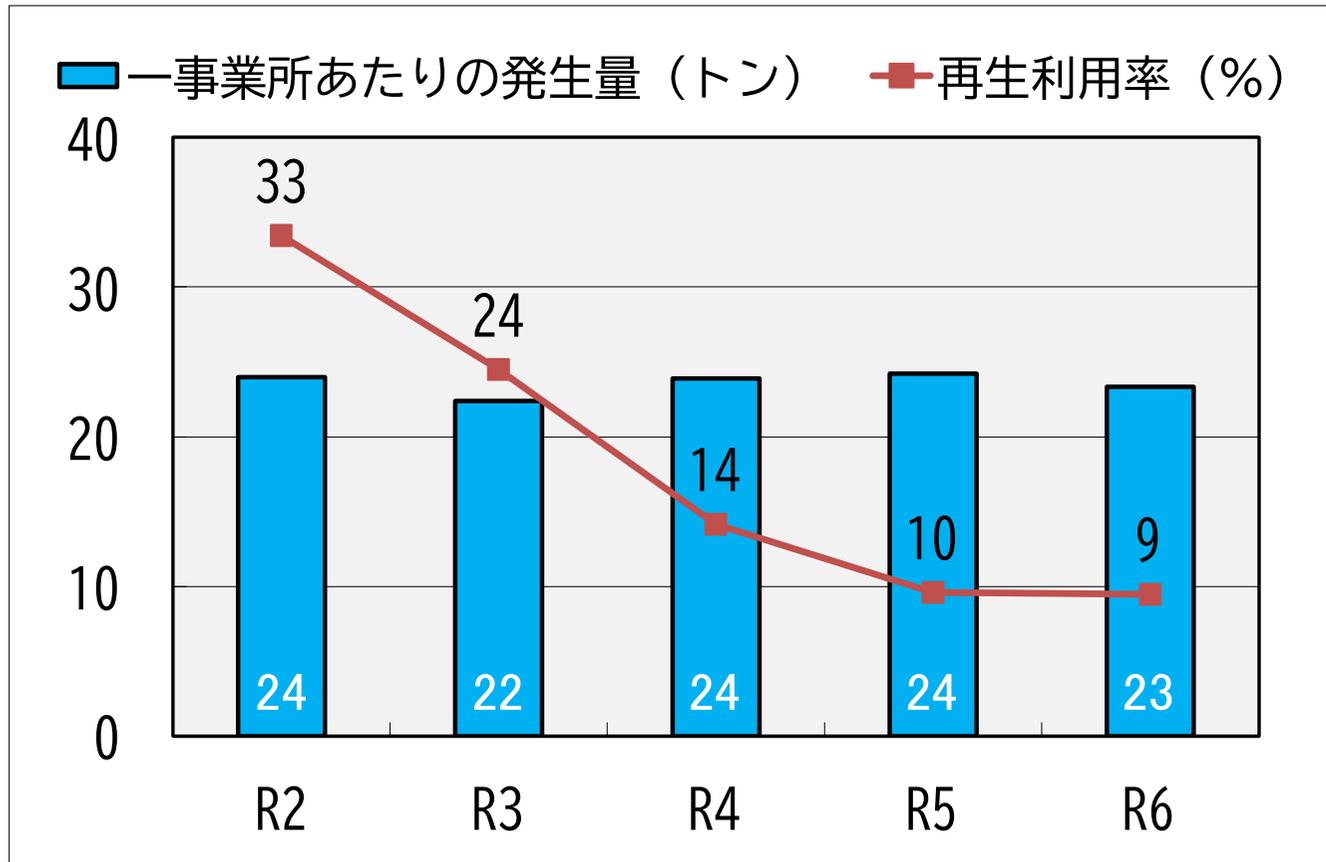


再生利用率 60%

発生量1,017トン
再利用率608トン

該当事業者	全量再利用	一部再利用・自家処理
161事業所	80事業所	12事業所
	49.7%	7.4%

厨芥類



再生利用率 9%

発生量5,178トン
再利用490トン

該当事業者	全量再利用	一部再利用・自家処理
222事業所	12事業所	23事業所
	5.4%	10.4%

再生利用率について

品目	再生利用率	発生量	再利用量
OA用紙	29%	1,316トン	388トン
新聞・雑誌・段ボール	95%	7,248トン	6,914トン
機密書類	60%	1,017トン	608トン
厨芥類	9%	5,178トン	490トン

再生利用率が伸びない原因とは？

- ・OA用紙は、対象がオフィスペーパー全般（不要となったコピー紙、チラシ、名刺、封筒、包装紙、紙袋など）のため、リサイクルしづらい
- ・厨芥類は、可燃物として、まとめて排出した方が処理に係る負担が少ない

他事業所でのリサイクルの取組

<紙について>

- ・現場作業で従来使用していた帳票紙などをDX化推進計画により、電子化し、紙の使用削減を行っている。
- ・地道な分別活動の展開と、シュレッダーなどの導入により効果を上げている。特に機密文書はシュレッダー化を進めて、リサイクルとコスト削減の効果を出している。
分別等の違反があった場合は、回収業者から連絡を受け、即時対応に努めている。社内でも管理者による置き場の定期的なパトロールを実施している。

他事業所でのリサイクルの取組

< 厨芥類や食品ロスについて >

- ・使用した食用油は、引取り業者に回収を依頼し、工業用油脂(インクや石鹼など)にリサイクルされている。
- ・製造工程において包装の破損、印字の不備等の理由により出荷基準を満たさない食品について、地域のフードバンクを通じて、福祉施設・こども食堂・生活困窮者の方々へ無償提供する活動を行っている。また、教育機関が中心となって運営する団体においても、定期的に行われる親子向けイベントやこども食堂へ食品を提供し、地域支援活動に協力している。

減量計画書の提出について

作成にあたっては、

「事業系一般廃棄物減量計画書作成の手引き」を参考にしてください。

特に、手引書5～8ページをご確認の上、ご提出ください。

減量計画書の提出について

4 ビル管理会社名

△△△ビル

※裏面の数値と一致させてください

5 再利用可能物の回収委託業者名

品目	名称	所在地	電話番号	再利用量
紙類	□□紙業株	富山市新桜町3番3号	432-2222	25トン
厨芥類	○○○○株	富山市新桜町4番4号	432-3333	1.5トン
空き缶・空きびん	☆☆商店街	富山市新桜町5番5号	432-4444	2トン

6 一般廃棄物収集運搬委託業者名

品目	名称	所在地	電話番号	収集量
紙類	△△工業株	富山市新桜町6番6号	432-5555	6トン
				トン
				トン
				トン

7 事務所内での自己処理について(事務所内で、中間処理をしている場合に記入してください。)

処理方法	生ごみ処理機器	その他()
処理の実績		トン
処理後の残渣等について(利用方法等)		

8 ごみ処理経費について(一般廃棄物にかかる年間処理経費を記入してください。)

2,500 千円

様式第1号(第8条関係)

【記載例】

年 月 日

富山市事業系一般廃棄物減量計画書

(宛先)富山市長

住

整理番号

富山市廃棄物の減量及び適正処理等に關

計画を提出します。

担当者名を必ずご記入ください。(問合せ連絡先)

建築物の概要	
建築物の名称	〇〇商事ビルディング
建築物の所在地	富山市新桜町1番1号
建築物の所有者 若しくは権原を 有する者	〇〇商事株式会社 連絡担当者 総務課長 役職名・氏名 立山 颯三 連絡先 電話番号 456-7890
構造等	地上 5 階、地下 1 階、延床面積 10,000 m ²
建築物の用途	1 事務所 2 百貨店 3 スーパーマーケット 4 小売店舗 5 複合用途※ 6 その他()
※複合用途の内容	1 事務所 5 社 合計 8,000 m ² 2 飲食店 3 社 合計 600 m ² 3 小売店舗 社 合計 m ² 4 その他() m ² 共用部分(1,400 m ²)
建築物内就業人員	300 人

(裏面へ)

記載例

減量計画書の提出について

減量計画		【記載例】									
年度 区 分	令和7年度実績					令和8年度計画					備考
	発生量	自家処理量	再利用率	廃棄処分量	減量率	発生量	自家処理量	再利用率	廃棄処分量	減量率	
一般廃棄物の種類	トン/年	トン/年	トン/年	トン/年	(B+C)/A	トン/年	トン/年	トン/年	トン/年	(B+C)/A	
	A	B	C	A-(B+C)	(%)	A	B	C	A-(B+C)	(%)	
紙（OA用紙等）	今年度の『実績』					翌年度の『計画』					
紙（新聞、雑誌、段ボール）											
紙（機密書類）											
厨芥類（残飯、生ごみ）											
その他（ ）											
小計											
参 考	空き缶										
	空きびん										
	プラスチック類										
	小計										
合計											

[参考事項]

1 シュレッダーの使用の有無 有 ・ 無

2 再生品の使用状況

コピー用紙	<input checked="" type="radio"/> 有 (80%) ・ <input type="radio"/> 無	トイレトペーパー	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
印刷物	<input checked="" type="radio"/> 有 (100%) ・ <input type="radio"/> 無	その他(制服・文房具)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無

3 ~~現在取り組んでいるリサイクルの状況や、ごみの減量にあたって課題を感じていることなどを記入してください。~~

新聞、雑誌、段ボール類は、各フロアに集積場所を設け、全量を資源化している。
OA関係の紙類は両面を使用し、各事務所ごとに回収ボックスを設けて回収の徹底を図っている。
機密書類は全量を廃棄処分しているため、情報の取り扱いに配慮しながら資源化する方法を考える必要がある。

**些細な事でも構わないので
ぜひ記入をお願いします。**

現在の取組のほか、リサイクルにあたって困っている点などの記入を！

減量計画書の提出について

(1) 計画書は、毎年4月1日現在で前年度実績を記入し、今年度の計画をたてる。

(2) 提出期限 令和8年5月29日(金)

(3) 提出先 〒930-8510 富山市新桜町7番38号

富山市 廃棄物対策課減量推進係 (TEL 076-443-2281)

減量計画書の様式 → 富山市ホームページからダウンロード可
(PDF形式・エクセル形式)

該当ページは、「富山市 事業系ごみの減量」で検索あるいは
富山市ホームページにてページ番号「1005356」で検索してください。
<掲載URL><https://www.city.toyama.lg.jp/kurashi/gomi/1010228/1005356.html>

※提出は、メール又は郵送でお願いします。

送付先: haikibutsu-01@city.toyama.lg.jp まで